

一般社団法人山口県医師会平成29年度第19回理事会

平成29年12月21日(木) 午後5時～午後6時10分

河村会長、吉本・濱本副会長、林専務理事、弘山・萬・加藤・藤本・今村・沖中常任理事、白澤・香田・中村・清水・船津・前川・山下理事、藤野・篠原・岡田監事

協議事項

1 第3回都道府県医師会長協議会の議題について

今後の小規模入院施設に対する日医の考えを問う議題を提出することが決定した。

2 広島県医師会との懇談会について

平成30年1月7日に山口市において開催し、ICTの活用と遠隔診療、勤務医師の時間外労働規制等について協議することが決定した。

3 山口県医療保険関係団体連絡協議会の提出議題について

「各医療関係団体におけるICT化や遠隔診療の状況について」を議題として提出することが決定した。

4 第13回医療関係団体新年互礼会について

1月6日(土)に開催する標記互礼会の出席者が概ね確定し、当日の次第及び役員の担当等について協議を行った。

5 山口県人事委員会勧告に伴う本会職員給与等の改定について

平成29年10月18日に山口県職員の給与等に関する勧告がなされた。本会職員給与は、山口県職員の給与に準じていることから、平成30年4月1日より、配偶者に係る扶養手当額を減額し、子に係る扶養手当額を引き上げることが決定した。

報告事項

1 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会(12月7日)

日本医師会医師賠償責任保険の運営に関する経過報告に続いて、愛知県医師会から「医療安全支援センター(苦情相談センター)の活動内容と医事紛争防止のための対応について」、東京都医師会から「過剰・不適切要求行為に対する医療機関からの相談対応について」の報告が行われた。その後、日本医師会の手塚一男 参与(弁護士)より「医療紛争に関する文書と裁判所への提出義務」、事務局より「最近の付託事例」の説明がされ、質疑応答を行った。(林)

2 山口県母子保健対策協議会 HTLV-1 母子感染予防専門委員会(12月7日)

妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の結果、HTLV-1母子感染予防事業の実施状況について報告があり、その後、平成29年4月14日付けで国から新マニュアルが提示されたことから、本県の「HTLV-1母子感染予防のためのガイドライン」の改訂につい

て協議を行った。(藤野)

3 地域医療構想調整会議：検討部会「周南」「下関」(12月7日)

周南医療圏(病床機能検討部会)では、公的医療機関等2025プラン策定対象の2病院、新公立病院改革プランを策定している3病院から現状と今後の方向性について説明が行われた。また、県医療政策課が行った「療養病床転換意向等調査(第2回)の結果」、周南健康福祉センターが行った「周南圏域回復期機能に関するアンケート結果」の報告が行われた。下関医療圏(高度急性期・急性期専門部会)では、公的医療機関等2025プラン策定対象の5病院から現状と今後の方針について説明が行われた。その後、各医療圏とも意見交換、質疑・応答が行われた。(弘山)

4 花粉測定講習会(12月10日)

本会の沖中常任理事より平成29年のスギ・ヒノキ花粉の飛散のまとめと平成30年の飛散予測の報告後、日吉花粉情報委員長による講演「春に見かける花粉」、松山大学薬学部臨床薬学研究室の難波弘行教授による特別講演「最多風向によるヒノキ科花粉供給地域の推定と飛散状況」が行われ、その後、花粉測定の実技講習等が行われた。
(今村)

5 勤務医部会第3回企画委員会(12月10日)

勤務医部会主催のシンポジウム、医学生のための短期見学研修事業、医師事務作業補助者研修会等について協議を行った。(加藤)

6 病院勤務医懇談会「周南記念病院」(12月12日)

医師の確保、救急現場での超高齢者のCPAや施設入居者の急変時の対応等について意見交換を行った。(加藤)

7 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会(12月13日)

平成29年1月に支払基金に設置された「支払基金における審査の一般的な取扱いの公表に関する検討委員会」で取り纏められた、投薬及び注射の公表事例についての報告、KPT(ふりかえり)法(Keep:よかったこと、続けること。Problem:悪かったこと、問題点。Try:次に試すこと、すること。)等の報告が行われた。(河村)

8 第3回健康教育委員会(12月14日)

平成29年度の健康教育テキスト(テーマ:食物アレルギー)の最終確認を行った。来年度のテーマは「リウマチ」とし、今後、執筆者を選考することが決定した。(藤本)

9 個別指導「周南市」(12月14日)

病院1機関について実施され立ち会った。(萬、清水)

10 山口県母子保健対策協議会新生児聴覚検査専門委員会(12月14日)

平成28年度新生児聴覚検査実施状況及びその推移(平成17~28年度)、医療機関か

ら連絡があった要精密児のフォローアップ状況、軽度・中等度難聴児補聴器購入費補助事業について報告があった。その後、療育機関からの補聴器装着の有無等の報告、平成 30 年度新生児聴覚検査に関する研修会等について協議した。(藤野)

11 健康やまぐち 21「歯科保健分科会」(12 月 14 日)

「やまぐち歯・口腔の健康づくり推進計画」の進捗状況、同計画に関する基本的事項の中間評価の進め方及び方法等について協議を行った。(藤本)

12 医療事故調査制度「管理者・実務者セミナー」(12 月 14 日)

厚生労働省医政局総務課医療安全推進室の名越 究 室長より「医療事故調査制度の概要」の報告、「医療事故報告における判断・医療事故調査の要点・医療事故調査制度における医療機関管理者の役割」の講義が行われた。その後、「調査実務担当者の視点から」として北海道大学病院医療安全管理部の南須原康行 教授の講演及び医療事故報告の判断に関する演習が行われた。(中村)

13 第 2 回山口県専門医制度協議会(12 月 15 日)

専門研修プログラム一次登録の状況及び登録者に関する分析結果の報告後に意見交換を行い、その後、専攻医確保に向けた今後の対策について協議を行った。(山下)

14 第 1 回山口県禁煙フォーラム(12 月 17 日)

本会の主催により「いのち」をメインテーマに開催した。県総合保健会館の多目的ホールでは、山口県健康増進課の喜多洋輔 課長から「タバコから県民を守る取り組み」、北九州市の霧ヶ丘つだ病院の津田 徹 院長からは「禁煙で“いのち”を守りたいー自分だけでなく、周りの人もー」と題した特別講演が行われ、その後、禁煙推進委員によるパネルディスカッションが行われた。第 1 研修室では、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、県臨床検査技師会のご協力により、タバコにまつわる無料健康相談、無料検査等が行われた。(藤本)

15 県民の健康と医療を考える会総会(12 月 19 日)

「国民が将来にわたり必要な医療・介護を安心して十分に受けられるための適切な財源の確保」、「国民と医療機関等に不合理な負担を強いている医療等に係る消費税問題の抜本的な解決」を県議会等に要望するため、国民の声を政府に届けることを目的とした国民運動の趣旨説明及び決議案の説明を行い、出席者全員一致で決議が採択された。(今村)

医師国保理事会 ー第 15 回ー

1 特定個人情報保護評価計画管理書及び基礎項目評価書の見直しについて

情報連携において国家公務員共済等が情報提供者になることに伴い主務省令が追加されたため、見直しを行い、変更後の基礎項目評価書を個人情報保護委員会に平成 29 年 12 月 22 日付けで提出・公表することが決定した。